

水害対策
財政計画



江藤美代子 議員

Q 災害防止対策は

A 県は、床上浸水ゼロ対策を検討中

江藤 河川改修計画はどうなっているか。

町長 県は、床上浸水ゼロ対策、浚渫の箇所、井堰について検討中。年度末までに、計画が出される。

江藤 ダムの越流について、サイレンで知らせるべきではなかったか。

町長 防災ダム操作規定では、放流、越流時には、警報局のサイレンなどで周知を行うことになっている。今回は河川の水位上昇が早かったこと、本部との連絡調整が煩雑だったことなどのため、警報サイレンによる住民周知がでなかった。今後、サイレンによる住民周知に努めたい。

江藤 ため池安全管理について伺う。

町長 水利組合または行政区で管理してい

る。防災重点ため池の耐震調査、劣化調査を進めている。当面、低水管理をお願いしたい。

江藤 災害時の情報周知の改善を求める。

町長 防災無線が聞こえない地域がある。LINEなどの登録をお願いしたい。自主防災組織などの体制を作り上げていきたい。

江藤 的確な避難の仕方の周知を求める。

町長 緊急に避難する場合は、持病の薬だけでもって避難所に行っていたらいい。その後は町が責任を持って対応する。

江藤 浄化槽やくみ取り便槽への泥水の流入被害について支援はあるか。

町長 浄化槽への泥水流入の対応については、年間の管理契約なので追加費用は発生していない。くみ取り便槽については、義援金を考える。



雑草が繁る東太田橋付近

Q 暮らしを支える積極的な予算編成を

A 公約実現の可能性を検討する

江藤 今こそ基金を活用し、くらしを支えるべきではないか。

町長 財政調整基金は、不測の事態に備えるため現在の残高を維持する。特定目的基金は、さらなる積み増しが必要と考える。

江藤 子育て支援や高齢者支援などの社会保障を充実することは、町の財政を圧迫するのではなく、経済を好転させる

と考える。社会保障が充実すれば、購買力が上がり、経済が好転する。社会保障が充実している町には人が集まり財源も増えるという考えである。広川町ならではの積極的な予算編成、財政計画を求める。



護岸の高さが違い手前側に越流する河川